

《 本文書の対象となる方 》

2023年4月1日～2025年10月31日の間に GIP/GLP-1 受容体作動薬 チルゼパチド（商品名：マンジャロ）を処方された方

課題名	GIP/GLP-1 受容体作動薬 チルゼパチドの non-responder における臨床的特徴の同定
承認番号	2025-019 番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属：糖尿病内分泌内科 氏名：南 勲
研究期間	(西暦) 年 月 ～ (西暦) 2026 年 3 月
研究の意義・目的	マンジャロは GIP/GLP-1 受容体作動薬として糖代謝改善や体重減少に高い効果を示します。しかし一定の割合で効果が乏しい患者様が存在します。 マンジャロ使用中体重や HbA1c の改善効果が十分に見られない症例の臨床的特徴や予測因子を明らかにすることができれば、治療前に効果予測を行う個別化治療の実現に寄与することが期待されます。
研究の方法 (対象期間含む)	この研究では 2023 年 4 月から 2025 年 10 月の間に当院(横浜市立みなと赤十字病院)でマンジャロを 3 ヶ月以上連続して処方されことのある患者さんを対象にしています。 年齢、性別、糖尿病発症時期、体重、血液検査データなど、すでに記録されている診療情報を利用して分析を行います。 体重と HbA1c の効果なしと効果ありの二群に分けて、効果なしと分けられた群はどういった特徴を持つかを調べる研究です。
試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供 される場合はその方法を含む)	診療録を基に収集した患者さんの情報には個人情報が含まれますので、患者さんの氏名やカルテ番号をこの研究固有の ID に置き換えて個人を特定できないようにして取り扱います。 その上で、匿名化した情報を基に解析を行い、マンジャロの効果不十分な患者さんの臨床的特徴についての学術的な検討を行います。 また、個人を特定できない形で学会及び学術誌での発表を行います。
利用又は提供する 試料・情報の項目	診療録を基に、患者さんの年齢、性別、身長、既往歴、併存症、アレルギーの有無、糖尿病発症時期、体重、血液検査データ、治療内容などを調査します。
試料・情報を 利用する者の範囲	糖尿病内分泌内科 研究責任者：南 勲 研究分担者：新葉 亮
試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)	〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 所属 糖尿病内分泌内科 氏名 南 勲 TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) / FAX:045-628-6101
問い合わせ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1

様式 5

	横浜市立みなと赤十字病院 所属 糖尿病内分泌内科 氏名 南 勲 TEL:045-628-6100（代表）内線 3808（事務局）／FAX:045-628-6101
--	--